

# 令和5年度「全国学力・学習状況調査」の結果 －分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について－

区名 住吉区  
学校名 大阪市立清水丘小学校  
学校長名 西岡 克敏

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和5年4月18日（火）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

## 1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

## 2 調査内容

### (1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数

### (2) 質問紙調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

## 3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・清水丘小学校では、第6学年 71名

学校名 大阪市立清水丘小学校

## 令和5年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

国語科の平均正答率は、大阪市平均・全国平均を6ポイント下回った。観点別にみると、「情報の扱いに関する事項」においては、全国平均とほぼ同じ正答率、大阪市平均と比べると0.8ポイント上回った。「言葉の特徴や使い方に関する事項」では、大阪市平均を4.7ポイント、全国平均を4.2ポイント下回り、「書くこと」においては大阪市平均を3.1ポイント、全国平均を5.6ポイント下回った。「話すこと・聞くこと」においては大阪市平均を11.4ポイント、全国平均を11.6ポイント下回った。

算数科の平均正答率は、大阪市平均を12ポイント、全国平均を12.5ポイントも下回った。領域別の正答率をみると、「数と計算」領域では11~12ポイント、「図形」領域でも11~12ポイント、「変化と関係」領域では12ポイント、「データの活用」領域では12~14ポイント下回った。

## 分析から見えてきた成果・課題

### 教科に関する調査より

〔国語〕漢字の読み書きの力については、定着してきている。しかし「話すこと・聞くこと」「書くこと」において、特に力をつけさせる必要がある。日ごろから集中して話を聞き、内容を正確に聞き取ったり、順序立てて話したりする機会を増やす必要がある。「読む力」においては文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読み取るような問題に多く取り組んでいくことが大切である。また、自分の考えを、理由を明確にしながら書いたり、文章の要約を書いたりする力も高めていく必要がある。

〔算数〕「図形」領域では、単純に形や面積を求める公式を覚えるのではなく、その性質や特徴、構成要素を読み取り、多面向的に図形を認識する力を高める必要がある。「変化と関係」の領域では、2つの数量の関係をしっかりと見極め、それを活用する力を高めていく必要がある。2つの数量の関係を、しっかりと自分の言葉で説明できることが大切である。「データの活用」の領域では、グラフを単に読み取るだけではなく、そのグラフの表す意味や、そのグラフからわかつることをしっかりと読みとる力を高めていく必要がある。また、算数科においても、計算力を高めるために反復練習を行ったり、式の意味や計算方法の意味を確実に理解できるようにしたりするなど、工夫をする必要がある。

### 質問紙調査より

「自分にはよいところがありますか」「先生は、あなたの良いところを認めてくれていると思いますか」という質問に対しては、肯定的回答率がそれぞれ82.6%、88.4%と高く、自己肯定感の高さがうかがえる。また、「朝食は毎日食べていますか」「毎日同じくらいの時間に寝ていますか／起きていますか」という問い合わせても肯定的回答率が高く、それぞれの家庭で規則正しい生活を送っている児童が多いことがわかる。ただし、「将来の夢を持っていますか」「人の役に立る人間になりたいと思いますか」などの質問に対する肯定的回答率は、大阪市や全国平均を下回りっており、将来へ夢や希望を持っているような取り組みを進めていく必要がある。

また、いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか」の質問も肯定的回答率が本校は95.7%、大阪市は96.1%、全国は96.9%とわずかに下回った。また、「学校に行くのは楽しいと思いますか」の項目においては、肯定的回答率が本校66.7%、大阪市82.1%、全国85.3%と下回った。友達関係、学習などいろいろな場において子ども一人一人が学校で輝けるような場を作っていくことが急務である。

## 今後の取組(アクションプラン)

国語科においては、読む力を高め、読み取ったことをもとに自分の考えを明確にし、自分の言葉として表現できるようにしていきたい。そのためにも、文章を正しく読み取る力を高められるように意識をした授業改善が必要である。文章の要約をしたり、日記や感想を書いたりする機会を多く設定し、「何を伝えたいのか」「ポイントは何か」を常に意識させる必要がある。また同音異義語、接続語など言葉そのものにも注目したり、さらに状況描写や表現方法にも着目したりするなど、言語感覚を磨くような学習展開を行っていくことも大切である。算数科においては、定着度に個人差があり、反復練習や補充問題などによりしっかりと基礎基本の学力の定着に取り組む必要がある。図形の領域などでは、実際に計測してみるなど体感できるような授業展開を大切にするなど単に公式を覚えるのではなく、なぜそうなるのか、意味や意義を考えられるようにしたい。また、数と計算の領域などでも、何度も練習を行うことで、単なる計算の仕方だけではなく、「早く」「簡単で」「正確な」計算力を身につけさせるようにしていく。

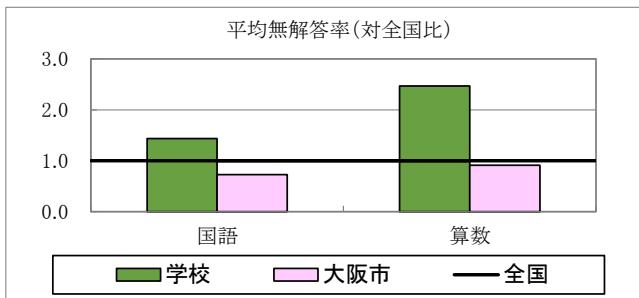
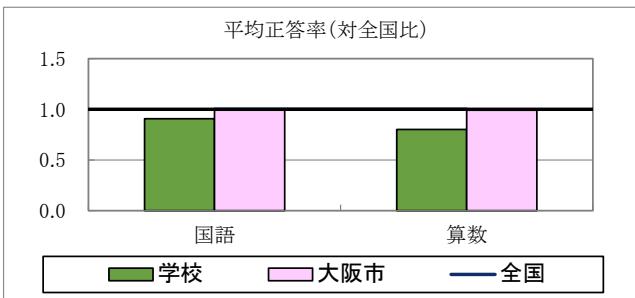
# 【 全体の概要 】

## 平均正答率 (%)

	国語	算数
学校	61	50
大阪市	67	62
全国	67.2	62.5

## 平均無解答率 (%)

	国語	算数
学校	6.9	8.4
大阪市	3.5	3.1
全国	4.8	3.4



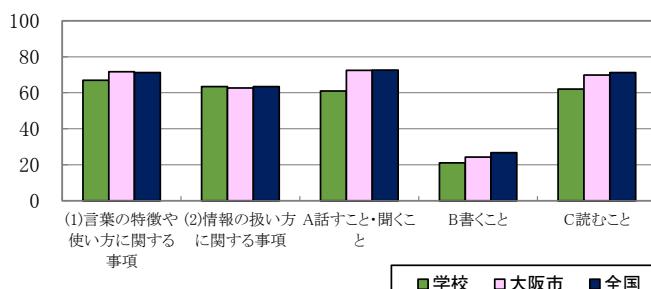
## 【 国 語 】

学習指導要領の内容	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方に関する事項	5	67.0	71.7	71.2
(2)情報の扱い方にに関する事項	2	63.4	62.6	63.4
(3)我が国の言語文化に関する事項	0			
A 話すこと・聞くこと	3	61.0	72.4	72.6
B 書くこと	1	21.1	24.2	26.7
C 読むこと	3	62.0	69.9	71.2

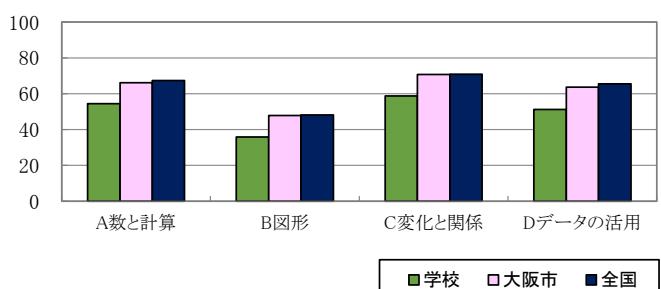
## 【 算 数 】

学習指導要領の領域	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	6	54.5	66.1	67.3
B 図形	4	35.9	47.8	48.2
C 測定	0			
C 変化と関係	4	58.8	70.8	70.9
D データの活用	3	51.2	63.6	65.5

国語 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



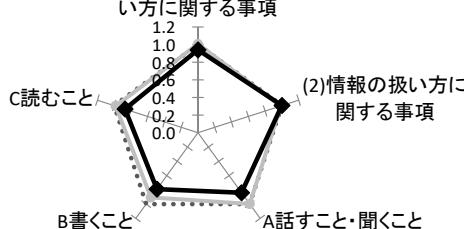
算数 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



国語 領域別正答率(対全国比)

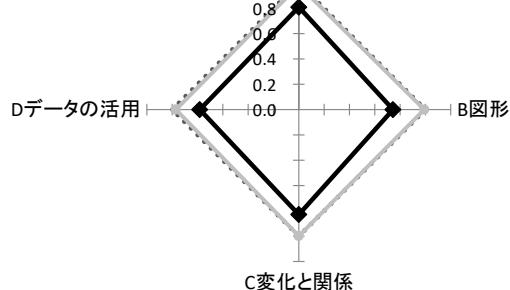
(1)言葉の特徴や使い方に関する事項  
(2)情報の扱い方にに関する事項

..... 全国  
— 大阪市  
— 学校



算数 領域別正答率(対全国比)

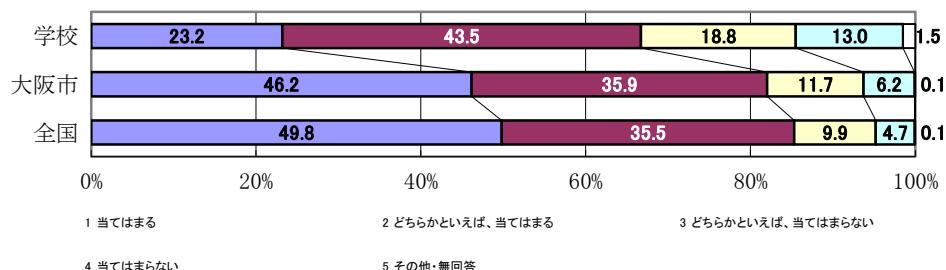
..... 全国  
— 大阪市  
— 学校



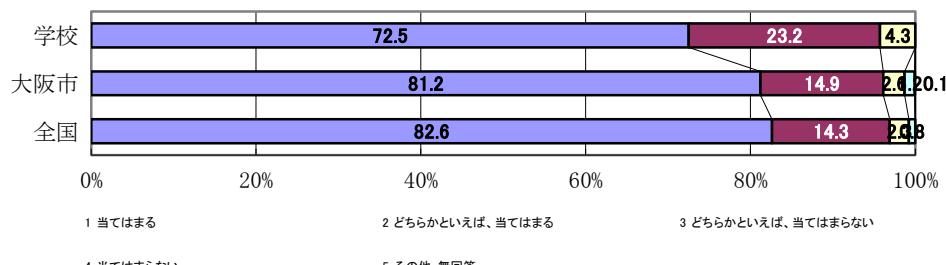
## 児童質問紙より

□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

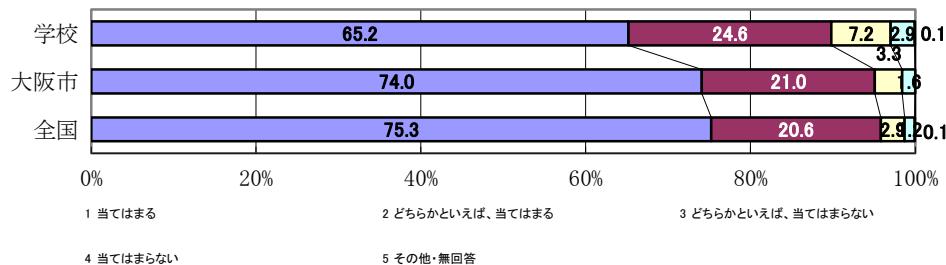
質問番号
質問事項
12
学校に行くのは楽しいと思う



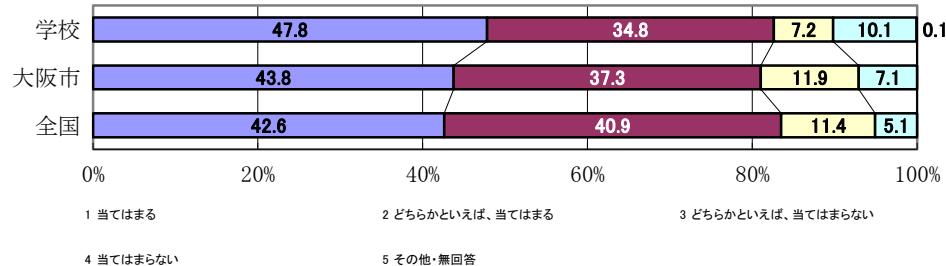
9
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う



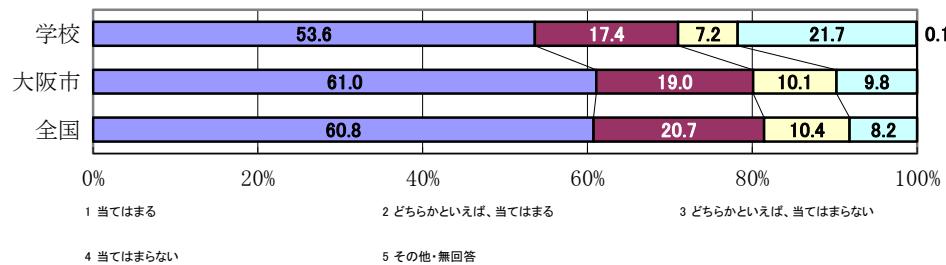
11
人の役に立つ人間になりたいと思う



4
自分には、よいところがあると思う



7
将来の夢や目標を持っている

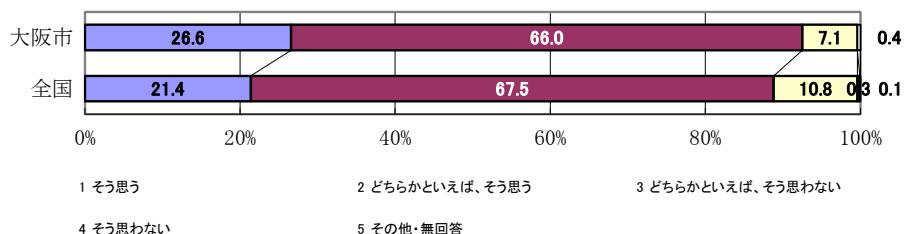


# 学校質問紙より

□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8 ■9 ■10

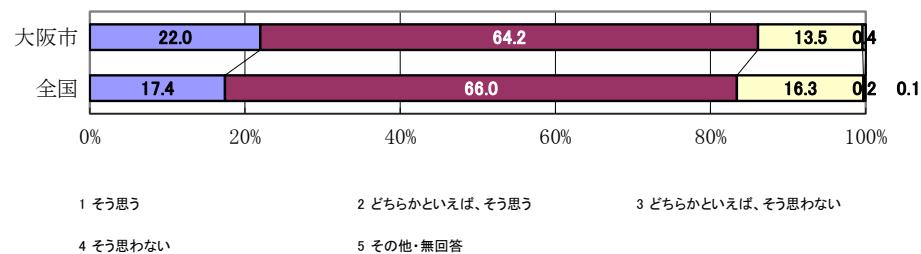
質問番号
質問事項
<b>26</b>
調査対象学年の児童は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができている

## 学校 「そう思う」を選択



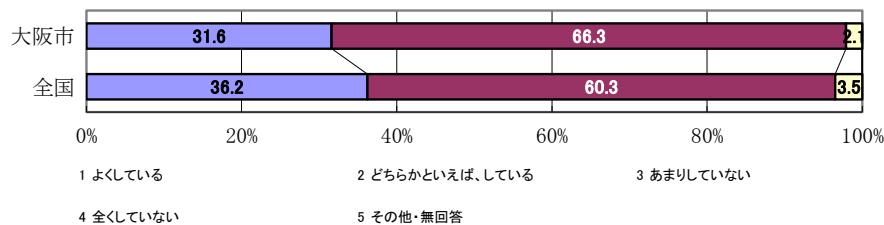
<b>29</b>
調査対象学年の児童は、学級やグループでの話合いなどの活動で、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている

## 学校 「そう思う」を選択



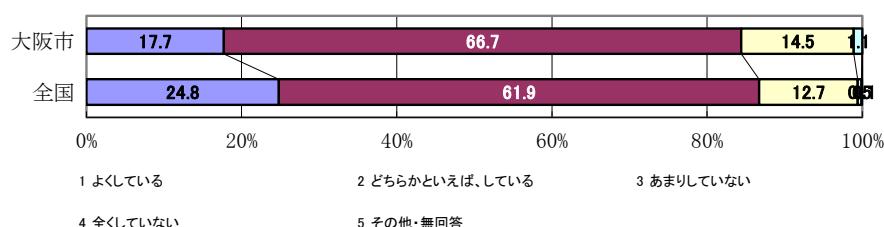
<b>40</b>
調査対象学年の児童に対して、特別の教科道德において、取り上げる題材を児童自らが自分自身の問題として捉え、考え、話し合うような指導の工夫をしている

## 学校 「よくしている」を選択



<b>71</b>
教育課程の趣旨について、家庭や地域との共有を図る取組を行っていますか

## 学校 「どちらかといえば、している」を選択



<b>72</b>
保護者や地域の人が学校の美化、登下校の見守り、学習・部活動支援、放課後支援、学校行事の運営等の活動に参加していますか

## 学校 「参加している」を選択

